

キャラクター名	プレイヤー名
ユウジ・イタドリ	

メインクラス	ウォーリア	Lv.1:		レベル	1
サポートクラス	モンク	Lv.1:	モンク	性別	男
称号クラス				年齢	15歳
種族	ヒューリン			境遇	師匠
出自 (効果)	一般人			目標	奪還

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	9	12	9	8	9	8	9
ボーナス	3	4	3	2	3	2	3
クラス修正	2	1	2	0	0	1	0
他修正							
能力値	5	5	5	2	3	3	3

HP	34
MP	29
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	バグナウ	至近	0	6	0	0	0	0	0
左手									
頭部									
胴部	クロスアーマー					3			
補助	ポイントアーマー				-1	3			
装身具									
能力値			5	0	5	0	3	8	10
スキル								1	5
その他									
総計(右)			5	6					
総計(左)					4	6	3	9	15
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	3			3	+ 2 d
トラップ解除	5			5	+ 2 d
危険感知	3			3	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
MPポーション*2	
HPポーション*1	
バックパック	
ベルトポーチ	

現在重量:	3	所持金:	25	預金・借金:	
最大重量:	16				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
オールラウンド	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果:	キャラ作成時に任意の3つの能力基本値+1							
バッシュ	2	4	メジャー	武器	単体	命中		
効果:	武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]							
カバーリング	1	2	DR直前	至近	単体	自動成功		
効果:	対象にカバーを行う。カバーを行っても行動済みならず、行動済みであってもカバーを行える。							
アームズマスター：格闘	1	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果:	選択した種別の武器による命中判定に+1D6							
インデュア	1	5	効果参照	-	自身	自動成功		
効果:	バッドステータスを受けた直後に使用可。そのときに受けたバッドステータスを全て回復する。							
アスレチック	1	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果:	跳躍、登攀などの筋力判定に+1d6							
ベアアップ	1	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果:	スキルに対するリアクション判定としての精神に+1d6							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

とある田舎町の一般家庭の生まれ。両親は早くに亡くなったため、祖父に育てられたが、その祖父も1年以上前に世界。その後、祖父の存命中から知り合い、いろいろと面倒を見てくれたサトル（ゴジョー先生）に引き取られ、冒険者としての戦い方や基礎を学んでいる最中。両親のどちらか（おそらく母親）がヴァーナの狼族であったらしく、ユウジも混血児（ハーフブラッド）ではあるがその特徴を持っている。強靱な肉体と瞬発力の高さはその最たるもの。また、毒に対する耐性が非常に高く、加えて命の危機に直面しても臆さない、痛みを恐れないなど異常なほどの精神的タフネスを発揮することがある。これがヴァーナの特性によるものなのか、ユウジ本人の資質なのか、それとも他に何か理由があるのかは不明である。祖父がまだ生きていた頃、彼と一緒に森で魔物の大群に襲われたとき、その群れを瞬殺で討伐したゴジョーの強さに強い憧れを抱いている。祖父が死ぬ間際に残した「お前は強い。強いから、たくさんの人を助けて、たくさんの人に看取られて逝けるような人間になれ」という遺言にたがわないように、冒険者として一人でも多くの人を助けられる強さが欲しいと思っている。一緒にゴジョーに師事しているメグミやノバラと一緒に冒険者デビューするのが楽しみで仕方ない。深く考えたり戦略を練ったりするのは苦手なので、そういう場面になると「フシグロくん任せた！」とメグミを頼りがち。なんだかんだで甘やかしてくれるのでつい甘えてしまう。街で買い物に行くときはノバラのあとをつけていくことが多い。荷物持ち兼ボディガード。「クギサキは（黙ってれば）可愛いから一人歩きは危ない」と思っている。エクスマキナ・サトルのことは、ゴジョー先生と区別するために「ゴジョー先輩」と呼んでいる。（サトルは15歳のときにはすでに冒険者デビューしており、17歳のサトルの姿を模しているエクスマキナ・ゴジョーは冒険者として2年も先輩に当たるため）なお、ゴジョー先生のことは師匠として尊敬はしているしあいう冒険者になりたいと目指してはいるが、人間的にダメな部分はあると思っている。そこは見習いたくない。ゴジョー先輩は見た目的に歳も近いのでフランクな友達のような感覚でいられて好きだし、兄ちゃんがいたらこんな感じがなと思っている。だがやっぱり人間的にダメな部分は以下略

【戦い方】
格闘武器を使用した近接戦で相手をポッコポコにする単体火力重視ウォーリア兼壁役。自分は頑丈なのでちょっとくらい怪我しても大丈夫と思っている節がある。カバーリングできるときは積極的にカバーリングする。そして大けがしてメグミに怒られながら治療してもらうまでがセット。インデュアのバステ回復があるので、バステにも強い。